

9月

No.89

お父さん・お母さん・生徒さんへ・・・

山本学習塾からのお知らせ

R1年8月25日

長い夏休みも終わってしまいました。今年の夏も暑かった、そして夏期講習も熱かったです。皆さんよく頑張りました。休み中の生活は計画通りに過ごせましたか。時間というものは私たちに公平に与えられていますが、その時間をうまく使うかどうかは、私たち次第です。この夏、時間を上手にコントロールできた人は、勝者へとつながるレールをどんどん進んでいる人かもしれません。反省すべき人は反省して、次に活かせるように気持ちの入れ替えを。さあ、勉強の秋です。二学期のスタートです。

☆9月の予定☆

9/9（月）～14（土）：塾内テスト
小学生は漢字、中学生は英単語の100題
テストを行います。配布した範囲表でし
っかり練習して満点を目指しましょう

9/16（月）敬老の日：休塾

9/23（月）秋分の日：授業日

二学期スタート

二学期が始まります。夏休みの勉強の成果は
単に量だけでは測れませんが、塾でしたテキ
ストや学校の課題、家での問題集を集めて、
重ねて机に置いてながめてみて下さい。夏休
みの間に、その厚み分の知識が皆さんの頭に
入っていったのです。頑張った自分を褒めて
あげましょう。そして二学期からも、夏の自
分自身に負けないように、さらに努力を続け
ていきましょう。

★今村先生のつぶやき★

暑い夏でした。今年も蝉が元氣よく鳴いていましたね。秋になり、虫の声も心地よく聞こえてくることでしょう。

さて、誰も一度は耳を傾けたことがある虫の声ですが、実はこの虫の鳴き声を聞くことができるのは、世界中で日本人と太平洋に住むポリネシア人だけだというをご存知ですか。多くの外国人には虫の音が聞こえないとはいったいどういうことでしょう。

人間の脳は、一般に右脳は音楽や雑音の理解を、左脳は言語や論理的処理を受け持つと考えられています。そしてなんと西洋人は虫の音を機械音や雑音と同様に右脳で処理するのに対し、日本人は言葉として左脳で受けとめているそうなのです。つまり日本人は虫の音を「虫の声」として聞いているということになるのです。みなさんは生活音や人ごみのにぎわい、車の通る音などを、普段気にせず生きていますよね。西洋人や中国人、韓国人も、虫の音を雑音として聞いているので、特に意識しない限り聞こえてこないのです。

虫の音だけでなく、そのほかの動物の鳴き声、波、風、雨の音、小川のせせらぎまで、日本人は左脳で聞いているといいます。犬は「ワンワン」、猫は「ニャーニャー」、牛は「モーモー」、豚は「ブウブウ」、小川は「サラサラ」、波は「ザブーン」、雨は「シトシト」、風は「ビュウビュウ」。まるで自然物はすべて「声」をもつかのようです。

このような擬声語、擬音語が高度に発達しているという点も、日本人がこれらを「声」と認識しているからなのでしょう。これは山や川や海など、ありとあらゆる自然物に生命が宿り、人間はその一員に過ぎないのだという、日本古来の自然観の中で日本語が育まれてきたものだからではないかと言われています。

虫たちの様々な声を聞いて季節の移り変わりを感じることができるのは、私たち日本人にとっても素晴らしいことだと思います。これから秋になります。ますます賑やかになる虫たちの歌声に耳をすませてみましょう。